



虹色

＝発行＝
 秋田県生涯学習センター
 〒010-0955秋田市山王中島町1-1
 TEL:018-865-1171
 FAX:018-824-1799
 E-mail:sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集:社会教育アドバイザー

第29回国民文化祭あきた2014(10月4日～11月3日)のテーマソング「僕たちの未来」をお聞きになったでしょうか。秋田県ゆかりの方たちが作り上げました。

素敵な歌声は、藤田ゆうみんさん、渡部絢也さんのお二人です。そして、何ととっても、作詞が「秋田のこどもたち」となっていることです。県内の子どもたちから歌詞の元になるフレーズを募集して、大木彩乃さんが歌詞にまとめたのだそうです。子どもたちの純真な目を通した秋田の良さが伝わってきます。作曲・編曲は、h a - j さんです。



平成26年度 生涯学習・社会教育関係職員実践講座VI 「公民館活動に使える自然体験施設の生かし方」 (平成26年10月2日: 県立保呂羽山少年自然の家 横手市)



バランス
 取るのが
 難しい!



10月2日、「生涯学習・社会教育関係職員実践講座VI」が県立保呂羽山少年自然の家を会場に開催されました。今回のテーマは、「公民館活動に使える自然体験施設の生かし方」でした。開会行事では、少年自然の家の近藤幸一所長が、子どものころ、自然活動・体験活動が多いと大人になってからの意欲につながるという調査結果に触れ、自然に囲まれた施設の活用意義について話されました。また、「秋田県立少年自然の家」の設置条例が改正され、従来の「心身ともに健全な少年を育成する」という条文に、「県民の生涯学習の振興に資する」という内容が付け加えられたので、大人の利用も積極的に計画してほしいと述べられました。後半に行われた演習では、どこでも使える交流ゲームやプロジェクトアドベンチャー(PA)の体験をしました。理屈抜きに体験することの重要性を参加者一人一人が意識することができ、今後の公民館活動の事業計画に大きな示唆を与える有意義な研修となりました。

美の国アクティブカレッジ

秋田の文学・婦人活動・教育 秋田県婦人解放運動の先駆者 早川カイ

9月25日、「秋田の文学・婦人活動・教育」講座が、北条常久シニアコーディネーターを講師に、「秋田県婦人解放の先駆者 早川カイ」と題して開催されました。早川カイ(明治17年～昭和44年 現在の甲府市生まれ)は、本県婦人解放運動の先駆者の一人であり、公娼廃止と娼妓の救済に尽力しました。また、恵まれない女性たちの自立更生施設である「秋田婦人ホーム」の設立など、現在まで引き継がれている事業にも触れられ、これまで県民のスポットが余り当たってこなかった早川について、理解を深めた講座となりました。現在、「女性の社会参画と地位向上」が謳われますが、早川らの活躍があったからこそといえます。自身は質素な身なりながら、惜しげもなく、私財をなげうつ心意気に、80名を超える受講者の皆さんと同じく、志の高さに感じ入りました。



熱心に聞き入る
 受講者の皆さん

学びから行動へ!

平成26年度県民総「行動人」推進事業自主企画講座の一つである踊りの教室「洋の会(ようのかい)」が、当生涯学習センターで、月3回開催されています。

10月から12月までの3か月間は、新たに、課題曲「奴さん」「夜桜小唄」を稽古する「秋の踊り教室」です。

「洋の会」を主宰する藤蔭洋さん(佐々木洋子、由利本荘市)は、幼少期から日本舞踊に親しみ、長い間、指導者として活躍されています。得意なことを生かし、仲間づくりや健康づくりに力を入れておられます。モットーは、「楽しむこと」「脳の活性化を図ること」「足腰を強くすること(体力・筋力維持)」「仲間づくり」とのことです。

一方、受講されている皆さんは、「稽古日前夜から、着物を準備するなど心待ちにしている」「とにかく仲間がいて楽しい」などと、話していました。

お邪魔した稽古日は、「ドンパン節」「南部蝉しぐれ」など数曲を、汗ばむほどに体をほぐしながら踊っていました。「左手を高く上げるときれいだよ」「左足に重心を置いて、右足は添える程度に」と、要所要所、声をかけながらのご指導振りでした。

これまで市民団体から、踊りの披露を依頼されたこともあり、踊りを通じて、地域の方々とのつながりを深め、「秋田の元気」を広めています。



藤蔭洋さん(中央)



玄関ホール展示

当生涯学習センター玄関ホールの展示を紹介します。

秋田県内避難者「暮らしの展示会」

9月28日から10月31日までの期間、「暮らしの展示会」を開催しています。

震災で秋田県内に避難している方々が、趣味や得意なことを生かして、制作した数々を出品しております。編み物、押し絵、水墨画、エコクラフト、粘土、和紙折り紙、写真、手縫い雑巾など、多岐にわたる作品づくりは、秋田に避難されてから始めた方々も多く、「秋田県避難者交流センター(当生涯学習センター3階)」が開催している「編み物教室」から生まれた作品もあります。

「秋田県避難者交流センター」の支援相談員の方に伺ったところ、展示会を通してたくさんの方々に見ていただくことが、避難者の皆さんの喜びとなり、生きがいや更に豊かで張り合いのある生活につながるようにと願い、企画されたとのことです。鑑賞された方々からも、心を込めて作られた温かみのある力作に、感動の言葉や元気をいただいたという感想が寄せられています。

